

令和 3 年 3 月度情報発信 No. 94

㈱材料・環境研究所 代表取締役 長野博夫

お世話になっています。

櫻は満開で、春爛漫を演じてくれています。しかし、関西地区においては新型コロナの勢いが止まりません。私が在住する神戸市においては、3月に非常事態宣言が解除された直後から、コロナ発症傾向は増加に転じ、第4波の心配が上がってきました。兵庫県知事は、事あるごとに、県民に繁華街への出入りの自粛を呼びかけていますが、人出はかえって増えている状態です。年度の変わりによる卒業、入学式、入社、転勤などにより人の動きが活発化し、また、コロナに対する気の緩みも心配されています。

私自身、この一年有余、神戸の繁華街に出て食事や、人の集まる場所を避けてきました。春になったので、日課として会社の傍を流れる清流住吉川河畔を朝散歩することを始めました。毎年春になると、川に鮎の稚魚が泳ぐ姿が見られるので、歩きながら川面を覗いたりします。まだ、時期が早いのか、鮎は出てきません。しかし、私と同じよう思いで川面を覗く人があちこちに見られます。

昨年の10月6日から始まった大阪市立大学の講義も、今年2月9日の試験を最後に終わりました。Zoomの講義からやっと開放され、やれやれです。この経緯を下記の感想文に記しました。

4月からは、新しい年度が始まります。どうぞよろしくお願い申し上げます。各社殿のご要望に答えるべく努力しますので、どんなご要望、ご意見でもご相談ください。お待ちしております。

感想 大阪市立大学での最終講義を終えて

広島大学で教官をしていた時に、大阪市立大学の非常勤講師を頼まれて以来、今年は20年の節目になるので、今回を最終講義としました。最初に教えた学生は、もう立派な大人になっていることでしょう。

工学部機械科の2年生対象に材料基礎学Ⅱ（選択科目）を1回100分、15回教えました。学生の受講申請によってその年の受講人数が決まるのですが、今年は、53名の学生が受講しました。教科書は、環境材料学（長野、内田、山下：共立出版）を使用し、必要に応じてPPT配布資料を用意しました。

新型コロナウイルスが発生する以前は、会社の事務所から大阪市住吉区にある大阪市大まで約一時間かけて電車で通勤していました。木々に囲まれたキャンパスの雰囲気、図書館でのちよい読みなどして大変楽しくもありました。

しかし、新型コロナウイルスの非常事態宣言下の令和2年～3年にかけての秋冬は、会社からのZoom講義としました。リモート授業がこれほど疲れることは想像していませんでした。原則として、学生のマイクやオーディオの使用は禁止にしていたので、授業内容に対する学生の反応を全く知ることができなくなりました。対面授業であれば板書をした

り、質問しながら学生の間を歩きまわったりして、学生とのコミュニケーションが取れました。Zoom 講義では、教師からの一方通行で、講義終了後の疲労も少なくありませんでした。

一方、Zoom 講義を受ける学生も大変だったと同情しています。ただ、救われたのは、2 回宿題を課し、大学の Web class に期限つきで提出してもらった。53 人の学生のほぼ全員の宿題の解答に接して、学生の真剣な勉強態度が読み取れ 安堵しました。

特記事項

- ① 大阪市立大学 担当教科の試験実施 (Zoom, 2 月 9 日)
- ② 大阪技術振興協会 技術士セミナー講師会 (Zoom, 2 月 12 日)
- ③ 学会プレゼンテーション 学界での予行 (Microsoft Teams, 2 月 16 日)
- ④ 学会 材料と環境研究発表会 (Microsoft Teams, 3 月 3 日)
- ⑤ 大阪技術振興協会 理事会 (3 月 5 日, Zoom)
- ⑥ 税理士事務所 会社決算初作成の打合せ (3 月 15 日)
- ⑥ M 社からのご依頼「ステンレス鋼の肥料による腐食文献調査」回答 (3 月 15 日)
- ⑦ K 社からのご依頼「ケルビン電位測定手順の確認」回答 (3 月 22 日)

以 上